



令和2年(2020年)第29週 2020年7月13日(月)~2020年7月19日(日)

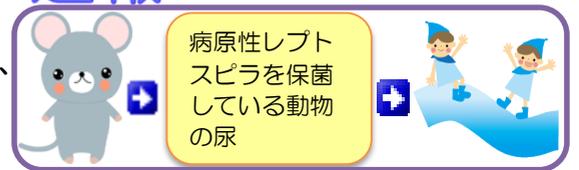
熊本市 感染症発生動向調査 速報

国立感染症研究所サイト



●水害後、気を付けてほしい感染症について

- ◆避難所の過密状態に伴う感染症…新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、その他の急性呼吸器感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、結核など
- ◆食品媒介感染症…感染性胃腸炎/急性下痢症(ノロウイルス・ウェルシュ菌・黄色ブドウ球菌・サルモネラ・カンピロバクター・病原性大腸菌など)
- ◆野外活動等で注意する感染症…創傷関連皮膚(破傷風など)・軟部組織感染症、節足動物等の媒介による感染症(日本脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、重症熱性血小板減少症候群など)、レジオネラ症、レプトスピラ症
- ◆ワクチンで防ぐことのできる感染症…破傷風、麻疹(はしか)、風しん(三日はしか)、水痘、百日咳



もっと詳しく

- ◆破傷風…破傷風菌が産生する毒素のひとつである神経毒素(破傷風毒素)により強直性けいれんをひき起こす感染症です。破傷風菌は芽胞の形で土壤中に広く常在し、創傷部位から体内に侵入します。最悪死に至るため、けがをしないように気を付けましょう。くぎやガラスなどを踏んでケガをしないように、ステンレス板が内装されているインソール(靴の中敷き)なども市販されているようです。予防接種についての詳細は、かかりつけ医にご相談ください。
- ◆レジオネラ症…レジオネラ属菌は自然界(河川、湖水、温泉や土壌など)に生息している細菌です。レジオネラ属菌に汚染された川の水を飲みこんだり、腐葉土の粉じんを吸い込んだことが原因と推定される感染事例が報告されています。後片づけの際、粉じんなどを吸い込まないように注意しましょう。
- ◆レプトスピラ症…保菌動物(ドブネズミなど)の腎臓に保菌され、尿中に排出されます。ヒトは、保菌動物の尿で汚染された水や土壌から経皮的あるいは経口的に感染します。水辺のレジャーを介した感染が増加しており、注目されています。また、過去の事例では水害後の作業をしていた人や、自宅が浸水し首まで水につかり傷を負った被災者の感染も報告されているため、注意が必要です。
- ◆蚊やマダニなどを媒介とした感染症…水たまりがあると、蚊が発生します。野外の容器など、可能な限り水たまりを作らないようにし、蚊やマダニに刺されないように屋外にいる場合は長袖のシャツ、ズボンを着用し、できるだけ皮膚の露出部を少なくするようにしましょう。ディート(DEET)やイカリジンなどの有効成分が含まれている虫よけ剤を使うなどの防御方法をとるようにしましょう。必ず添付書類に記載されている使用方法を守ってください。
- ◆急性胃腸炎…黄色ブドウ球菌などによる食中毒に気を付けましょう。・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗いましょう。水が出ない場合には、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。・袋入りの食べ物は、手でちぎって食べずに、直接食べましょう。・おにぎりを握るときは、使い捨て手袋を使用するか、ラップに包んで握りましょう。

期 間		2020年 28週		2020年 29週	
		7/6~7/12		7/13~7/19 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	16	1.00	3	0.19
感染性胃腸炎	➡	27	1.69	40	2.50
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	5	0.31
手足口病	➡	5	0.31	4	0.25
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	16	1.00	17	1.06
ヘルパンギーナ	➡	5	0.31	15	0.94
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	2	0.13	3	0.19
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	9	1.80	5	1.00
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00